

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）

「胃カメラ」と聞くと、つらくて、苦しい検査というイメージがありませんか？当クリニックでは、鼻から楽で安全な内視鏡検査（経鼻内視鏡検査）および鎮静剤を用い、眠っている間に行う内視鏡検査を行っています。

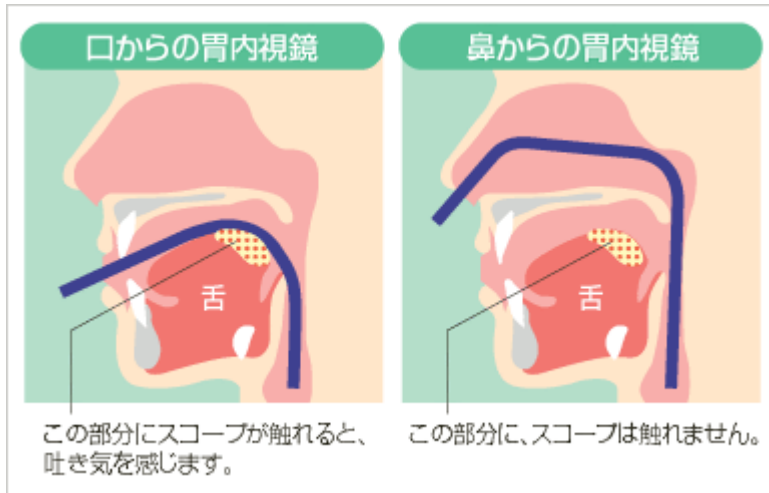
経鼻内視鏡の特徴とメリット

- ◆ 苦痛が少ない
従来の内視鏡の約半分、直径 5mm の細い内視鏡です。鼻腔内に十分麻酔剤を塗布するため、痛みも殆どありません。鎮静剤を使うのと比べ、薬による副作用が少なく安全な検査です。検査後に仕事をすることも可能です。
- ◆ 吐き気が殆どない
のどの奥にある舌根部に内視鏡が接触しないため、オェオェという嘔吐反射が抑えられます
- ◆ 会話ができる
検査中にモニターに映し出される画像を見ながら、医師と会話することができます。

ただし、出血など損傷をきたすことがあるため、鼻の疾患のある方は避けた方が良いでしょう。

今まで口からの内視鏡検査を受けて、辛かった、苦しかったという経験のある方、そのようなイメージから胃の内視鏡検査を敬遠されている方、胃が気になる方など気軽に鼻からの内視鏡検査を受けてみてはいかがでしょうか？

また、静脈麻酔を用いた、眠っている間に口から行う内視鏡検査も行っておりますので、御相談下さい。



以下の項目に該当する方は胃内視鏡検査をお勧めします。

- 検診（バリウム検査やペプシノゲン法）で要精密検査といわれた方
 - 胃痛、むかつき、胸やけ、胃のもたれ、食欲不振、嘔吐などの消化器症状のある方
 - 貧血のある方
 - 体重減少のある方
- ◇ 上記のような症状以外にも胃に気になる症状がある方は検査をお受け下さい。
- ◇ 40歳以上の方は、上記のような症状がない場合でも1年に1回は検診をお受けになることをおすすめします。